

シンポジウム 文学と法におけるLGBTQ 2021年9月6日 (月)

李琴峰氏が語る台湾日本のLGBTQ文学と法制度

李琴峰

(り・ことみ / Li Kotomi / Li Qinfeng)

日中二言語作家、翻訳者。1989年台湾生まれ。2013年来日。2017年、初めて第二言語である日本語で書いた小説『独り舞』（原題「独舞」）で、第60回群像新人文学賞優秀作を受賞し、作家デビュー。2019年、小説「五つ数えれば三日月が」で、第161回芥川龍之介賞候補に。2021年、小説『ポラリスが降り注ぐ夜』で、第71回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。同年、小説『彼岸花が咲く島』で、第165回芥川龍之介賞を受賞。

日付：2021年9月6日 (月曜) 14:30～16:00

同志社大学 烏丸キャンパス志高館 SK 118

対話：セン・ラージ・ラキ (文学)

菅野優香 (クィア・スタディーズ・映像学)

質問応答：日本語

参加を希望の方は、以下の事前登録をお願いいたします。

氏名 (かな) / e-mailアドレス (配信用) / 所属 / 電話番号申し込み先： 上記の情報を記入の上、「9月6日李氏講演会」という件名で、kato.yuri.ge(アット)u.tsukuba.ac.jp (アットを@に変換ください。) までメールでお申し込み下さい。(お申し込み、お問い合わせはメールのみにて受け付けております。)

申し込み及び締め切り： 2021年8月30日～9月2日 (木) 17:00 *ただし、参加可能な人数に達する場合、事前に締め切らせていただきます。

主催：基盤研究B「文学と法のグラマトロジー：日本語文学と法・制度の境界横断を中心に」、研究者代表：セン・ラージ・ラキ (Raj Laxhi SEN)

共催：同志社大学フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究 (FGSS) センター